

平成23年7月6日

特急スーパー宗谷2号の補機駆動軸の脱落について

1. 発生日時 平成23年7月5日(火) 11時46分頃
2. 発生場所 函館線 岩見沢～上幌向駅間
住所：岩見沢駅 岩見沢市有明町南1番地1
上幌向駅 岩見沢市上幌向南1条4丁目1227番地1
幌向駅 岩見沢市幌向南1条3丁目339番地1
3. 列車 特急気52D列車
(稚内駅発 札幌駅行き 特急スーパー宗谷2号 4両編成)
4. 概況
特急スーパー宗谷2号、岩見沢駅定時発車後、速度約85km/hでだ行運転中、岩見沢～上幌向駅間の上り第6閉そく信号機付近(325km625m)でアラーム鳴動と共に運転席モニタ画面に4号車「低電圧検知」「空調異常」が出ました。
運転士のリセット扱いで正常となり運転を継続しましたが、速度約125km/hで力行運転中、上幌向～幌向駅間の上り第2閉そく信号機付近(319km997m)で再度アラーム鳴動と共に運転席モニタに4号車「機関水温注意1」が出て、さらに約1分後に4号車「空調異常」「機関停止2」「機関水温高1」が出たため、幌向駅に常用ブレーキにて停止しました。

輸送指令に連絡後、運転士が床下点検を行ったところ、4号車後ろ側のNo.2エンジン下部より潤滑油の漏れを発見しました。
その後到着した検修社員が点検したところ、4号車前側の補機駆動軸が脱落していることを確認しました。
5. 車両損傷状況
4号車(机261-101号)
脱落
・補機駆動軸スプライン部(14.5kg)
・補機油圧駆動ユニット油面計付き給油口(6.5kg)
・補機駆動軸CGカップリング(19.0kg)
破損
・No.2エンジンオイルパンの底面に穴あき(35mm×50mm)
・No.1補機駆動軸取付部(ユニット側)破損
6. 原因
補機駆動軸から補機油圧駆動ユニットへの動力伝達部のボルト(4本)が折損したため、補機駆動軸が脱落しました。なおボルトの折損原因については調査中です。

7. 対 策

緊急対策

今回部品が脱落した車両と同一構造の261系11両及び201系12両について、補機駆動軸から補機油圧駆動ユニットへの動力伝達部のボルトの一斉点検と全数取り替えを行っております。

点検内容

- ・補機駆動軸から補機油圧駆動ユニットへの動力伝達部のボルトのゆるみとキズの有無
- ・入力軸フランジ取付ボルトのゆるみとキズの有無
- ・CGカップリングの状態と取付ボルトのゆるみの有無

8. そ の 他

本列車は、261系気動車4両編成であり、定員204名乗車165名のほか、乗務員3名(運転士1名、車掌1名、客室乗務員1名)が乗車していました。お客様については、後続の旭川11時00分発札幌行き特急スーパーカムイ20号にお乗り換えいただきました。

9. 列車への影響

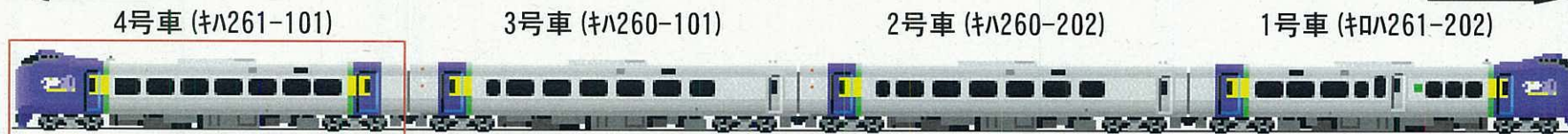
列車運休	7月5日	特急列車	2本(部分運休1本含む)
		普通列車	6本(小樽～倶知安間代行バス2本実施)
	7月6日	普通列車	2本(倶知安～小樽間・蘭越～小樽間 代行バス各1本実施)

影響人員	7月5日分	約1,800名	
	7月6日分	約 500名	合計 約2,300名

スハ°-宗谷2号 車両損傷状況

進行方向 (札幌)

(岩見沢)



損傷車両

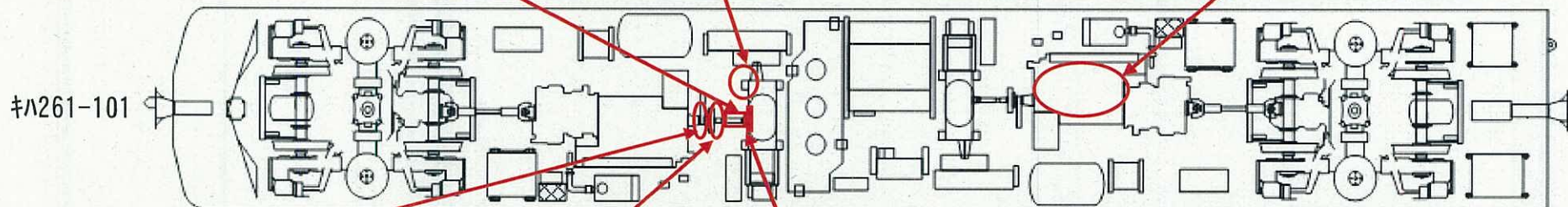
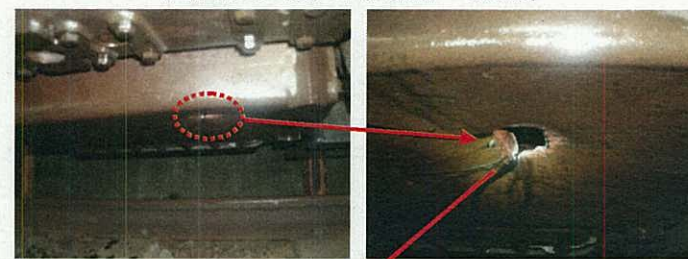
補機駆動軸スプライン部
(14.5kg)



補機油圧駆動ユニット
給油口 (6.5kg)



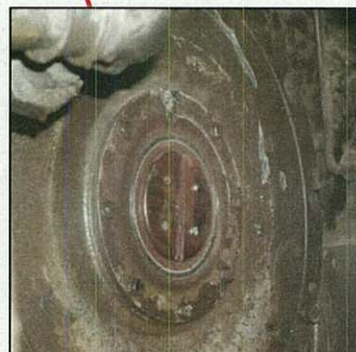
No.2エンジンオイルパン
底面に穴あき (35mm×50mm)



補機駆動軸取付部 (エンジン側)



補機駆動軸CGカップリンク
(19.0kg)

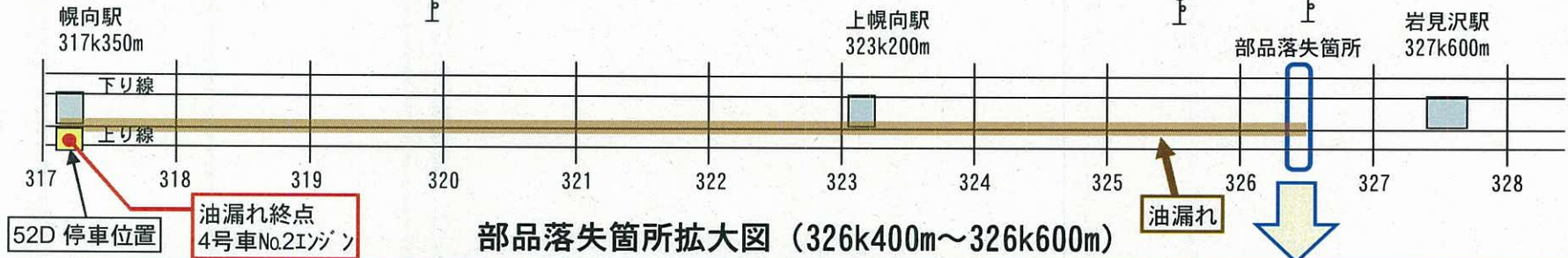


補機駆動軸取付部 (ユニット側)

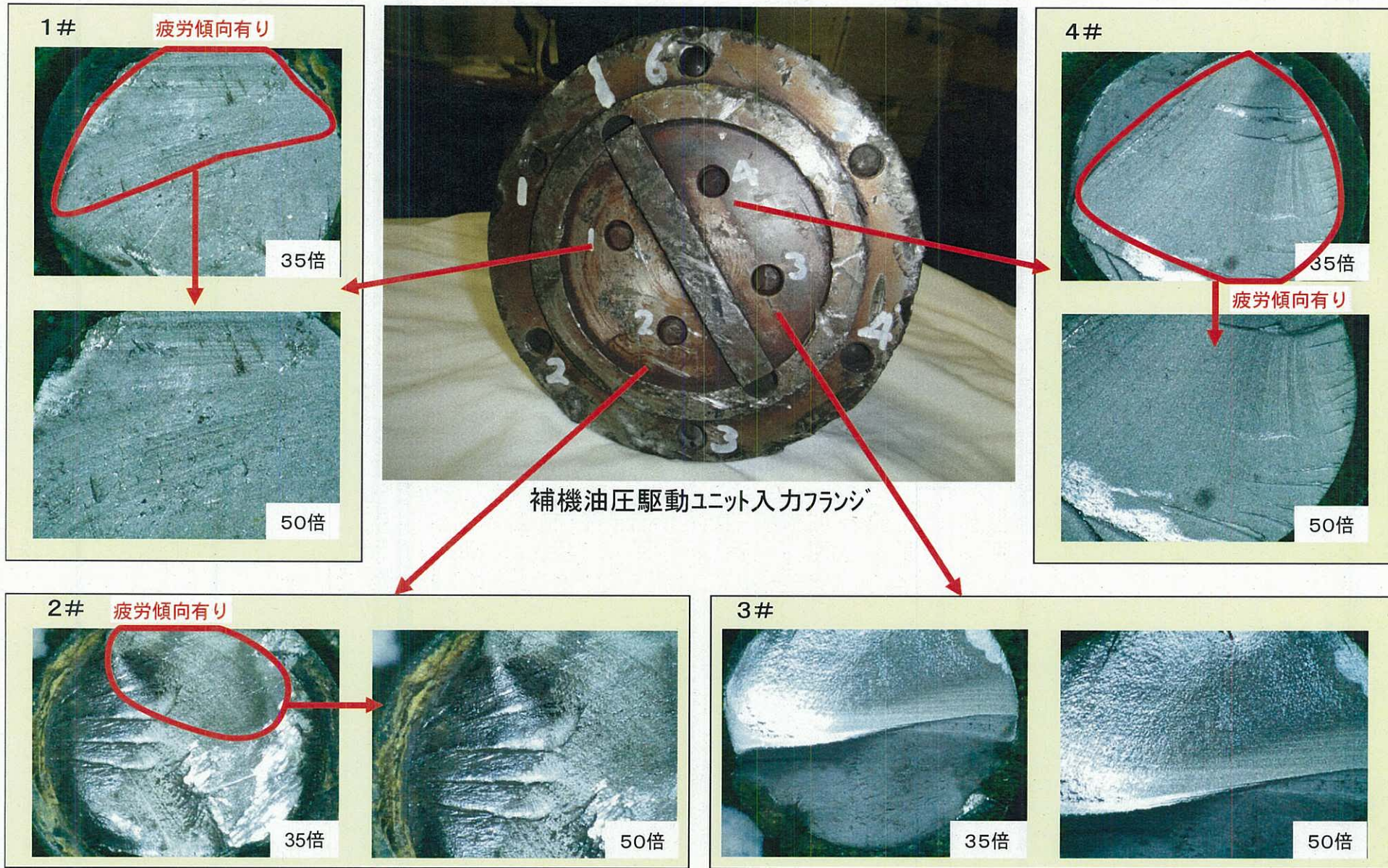
ス-パ-宗谷2号 車両部品落失状況

進行方向 (札幌)

(岩見沢)



ス-パ°-宗谷2号 4号車 (キハ261-101) No.1補機油圧駆動ユニット入力フランジ 取付ボルト破断面について



補機駆動軸模式図

